

2022.7.1
Vol.254

かわ

Contents vol.254

- 河川協会会長挨拶…………… P1
楽しく川で遊ぼう…………… P2
わかまちのかわ◎第52回大野城市… P3～P4
第1回災害復旧実務講習会…………… P5～P6
河川愛護月間・河川愛護活動…………… P7～P8
ふくおかの身近な川とさかなを知ろう/
No.9 アシシロハゼとマハゼの分布と生態について
…………… P9～P10
河川協会からのお知らせ

防災は一人一人から

福岡県河川協会

会長 江頭 祥一

福岡県議会県土整備委員会委員長：嘉麻市選出
(薬剤師、ケアマネージャー、防災士)



梅雨明けが待たれる今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

雨は多くの恵みをもたらしてくれる一方、時に牙をむき、自然災害というかたちで私たちの生活に大きな影響を与えます。

近年の激甚化・頻発化する水災害を受け、国は、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」への転換を進めております。

福岡県においても、国、県、市町村からなる流域治水協議会を設立し、流域治水の取り組みの全体像を示した「流域治水プロジェクト」をとりまとめ、令和4年3月に公表いたしました。

今後、このプロジェクトに基づき、流域内のあらゆる関係者と連携して、流域治水対策を本格的にスタートさせ、防災意識の向上を図るとともに、地域の防災力を高めていく必要があります。

私も河川協会の会長として、また、福岡県議会の県土整備委員会の委員長として、しっかりとこの取組に尽力させていただく所存です。

福岡県は、全国で唯一5年連続で大雨特別警報が発表され、毎年のように多くの施設被害、浸水被害が発生しております。このようなことから、私は防災に関する正しい知識を身に付け、さらに地域における防災活動や災害時の避難や復旧・復興に係る活動のリーダーとして行動できるようになりたいという思いから、昨年、防災士の資格を取得しました。これにより得られた知識を活かし、昨年の大雨に際しましては、インターネットを通じて注意喚起を行うほか、雨が落ち着いた時を見計らって県管理河川などの被害状況を見て回り、現場第一主義の県議会議員として、被災現場の皆様の想いを県当局にお伝えするとともに、災害復旧等に要する費用については、県議会において速やかに審議の上、補正予算案を採決し、復旧・復興を支援しております。

この補正予算を活用し、洪水時における迅速な浸水被害の軽減を図れるよう、福岡県では、昨年度までに計6台の排水ポンプ車を配備いたしました。

令和3年8月の大雨では、筑後地域や筑豊地域において、市町村の要請に応じて、排水ポンプ車6台すべてが出動し排水作業を行い、県民のみならずの安心・安全の確保に寄与しております。

ポンプ車の稼働実績に対する感謝の声、また、各地区への配備を求める声をお聞きしまして、今年度はさらに6台の排水ポンプ車を追加導入し、浸水被害への更なる迅速な対応を図ります。

このように、県下ではハード設備の充実を図っておりますが、我々一人一人の防災意識を高めることも同じく重要です。福岡県では、「福岡県総合防災情報」により各種防災情報をリアルタイムで配信しておりますので、是非ご活用ください。

河川協会では、災害復旧促進全国大会や治水事業促進全国大会をとおり、災害復旧の促進や、治水関係事業の促進について、要望活動も行ってまいります。また、国土交通省に対しても、安定的な予算確保等について、要望活動を行ってまいります。

こうした活動を通し、総合的な治水対策や豊かな河川環境の整備に積極的に関わって参ります。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今後、夏本番を迎えますが、健康には十分注意し、元気に盛夏を乗り切りましょう。

安全に楽しく川で遊ぼう!!



川は人々の生活や心に安らぎを与える「憩いの場」であり、貴重な自然体験ができる「学びの場」でもありますが、その一方で、急激な増水など様々な危険が潜んでいます。このような川を安全に利用していただくために、福岡県では、平成21年度より毎年、小中学生を対象とした「ふくおか水辺の安全講座」を開催しています。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部会場について中止しました。
※今年度の開催状況につきましては、福岡県国土整備部河川整備課のHPをご覧ください。

開催講座の紹介

屋内では、ビデオ映像を用いて水辺の危険箇所などを学習します。屋外では、実際に川の中に入り生物調査やカヌー乗船をおこない、川と触れ合うことで川の大切さを学びます。また、ライフジャケットの着用やレスキューロープ投げなどを体験し、増水時に救助が必要になった時の対処方法を学びます。



ロープを使った救助訓練



ライフジャケットを着用し生物調査を実施

～川の利用についてのお願～

平成20年に兵庫県神戸市内を流れる二級河川都賀川において、短時間の急な増水により、河川内で遊んでいた大人と子供が流されて死亡するという悲惨な事故が発生しました。このような大きな水難事故やケガにあわないように、川で遊ぶときには次の点に注意しましょう。

平成20年7月28日の都賀川の状況



14時20分頃の状況



30分後の状況

川に行く前に

- 1 子どもだけでなく、大人といっしょに行きましょう。
- 2 ライフジャケットや足に固定できるサンダルなどを付け、安全対策をしっかりとしましょう。
- 3 気象情報を確認しましょう。

川で遊んでいる時

- 6 空が急に暗くなったり、遠くで雷が鳴ったらすぐに川から逃げましょう。
 - 7 普段流れてこないペットボトルや流木、落ち葉などが流れてきたり、水位が急に低くなったら川から逃げましょう。
 - 8 雨が降り出したら橋の下で雨宿りせず川から上がりましょう。
 - 9 溺れている人がいても自分で助けに行かないで大人を呼びましょう。
- また、近くにペットボトルや木の切れ端など浮くものがあれば投げ入れましょう。

川についたら

- 1 流れの激しいところや深そうなところ、滑りやすい石やコンクリートの上など、危険な箇所を確認して気をつけましょう。
- 2 雨の後など、増水しているときには川に入らないようにしましょう。



福岡県河川管理課で「川の安全利用ガイドブック」を作成しています。是非ご活用ください。

URL: https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/519070_60190730_misc.pdf



郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちのかわ



第52回 大野城市



牛頭川

大野城市の概要

大野城市の名称は、天智4年(665年)、大野山(現在の四王寺山)に築いたわが国最古の朝鮮式山城「大野城」に由来します。

福岡市の南に隣接し、古くから博多と太宰府を結ぶ交通の要所として繁栄しました。今も国道3号や九州自動車道、福岡都市高速道路、JRと西鉄が通り、福岡空港にも近い、交通の便に恵まれた地域であり、住みやすいまちとして人口増加が続いています。

また、令和2年には日本最古の朝鮮式山城「大野城跡」(国指定特別史跡)のほか、「水城跡」(国指定特別史跡)や「牛頭須恵器窯跡」(国指定史跡)などの貴重な文化財が日本遺産「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」として広域認定されるなど、歴史遺産に恵まれたまちでもあります。

昭和47年4月に市制を施行した本市は、令和4年4月に市制50周年を迎えました。令和4年4月1日の市制50周年オープニングセレモニーを皮切りに、令和5年3月31日ま

での1年間に様々なイベントを実施する予定です。

また、本市中心部を縦断する西鉄天神大牟田線では、鉄道の高架化を進めており、令和4年8月に切り替えを予定しています。

その後は、高架下空間と周辺整備を計画的に行うことで、「いこい・学び・にぎわい」の拠点として、歩いて楽しいまちづくりを進めていく予定です。



市制50周年オープニングセレモニー

大野城いこいの森中央公園



この公園には、今年2月に市のゆるキャラである大野ジョー君のお城をモチーフとした「プレイキャッスル」が完成しました。他にも、巨大トランポリンである「ふわふわドーム」、斜面遊具の「冒険アドベンチャーフィールド」など、様々な遊具で遊ぶことができます。園内からは大野城市を一望できます。今年4月に開園30周年を迎え、多くの方にお越しいただいています。

大野城いこいの森キャンプ場



来年7月に30周年を迎える、長く愛されるキャンプ場です。ロッジ、常設テント、フリーテントサイトから好きなスタイルを選ぶことができます。一部のサイトは車を横付けできるように整備し、ギアの持ち運びもスムーズです。街中では味わうことのできない雄大な自然を体感できますので是非お越しください。

水城跡と大野城跡



水城は664年に造られた防衛施設です。敵の侵入を防ぐために築かれた土塁は長さ約1.2km、高さ約10mあります。水城築造の翌年に造られた大野城は日本最古の朝鮮式山城です。築かれた土塁や石垣の総延長は約8kmにおよび、その内側には約70棟の建物が確認されています。

牛頭ホタルの里



牛頭川上流では、牛頭ホテル部会の方々によるホテルの飼育、保護活動によって、5月中旬から6月中旬までホテルが飛び交うホテルの名所となっています。

鶏ぼっかけ



昔、大野城市では親睦の場のメの料理や家庭の手頃な料理として、ご飯にしょうゆ味の鶏の汁物をかけて食べていました。ご飯に汁を「ぶっかけ」たことから「ぼっかけ」と呼ばれています。

大野城心のふるさと館



「大野城」をまるごと体感できる、市民ミュージアム「大野城心のふるさと館」。特別展や企画展の開催のほか、クライミング体験やこころショップ&カフェなども併設しており、だれもが気軽に楽しめる施設となっています。

令和4年度

第1回

福岡県災害復旧実務講習会の報告

令和4年度福岡県災害復旧実務講習会(第1回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県土整備事務所・支所及び県内市町村から87名の方に参加していただきました。

本講習会は、適正かつ迅速な災害復旧事業を推進するため、災害復旧の実務を行う担当者を対象に年2回開催しているものです。

第1回となる今回の講習会では、冒頭で「令和3年災害査定総括」として令和3年災害の被害状況や災害査定結果について報告しました。また令和3年災害査定を振り返って、見受けられた課題について説明しました。

次に、「災害復旧事業の基本原則」や「災害復旧事業の実務」、「災害報告・目論見書の作成について」といった講義を行いました。この中では、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(通称「負担法」)についての説明や、申請に必要な事務手続きについての説明を行うとともに、求められるスピード感・タイトなスケジュールについて理解してもらいました。

また、国土交通省九州地方整備局の平岡

技術検査官、財務省福岡財務支局の熊本主計実地監査官を講師としてお招きし、災害査定時に申請者として気を付けるべきポイント・申請者としての心構えや、査定官、立会官それぞれの視点から見た災害査定について、近年の全国の事例も交えながらわかりやすく解説していただき、大変有意義なものとなりました。

本講習では災害復旧事業の初心者から経験者まで、幅広い方々に参加していただきました。災害は突発的なものであり、いつどこで発生してもおかしくありません。また近年は災害の頻発化・激甚化も叫ばれています。そのため、日頃から災害に対して準備をしておくことがより一層重要となります。12月に予定している次回の講習会も、参加者がスキルアップできるように企画してまいりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



講習会の様子



開会挨拶

(福岡県 県土整備部 河川管理課 安井参事)



国土交通省 九州地方整備局 企画部 技術検査官 平岡様



財務省 福岡財務支局 理財部 主計実地監査官 熊本様



令和4年度福岡県災害復旧実務講習会 (第1回)プログラム

- 1 開会挨拶
- 2 令和3年災害査定の総括
- 3 災害復旧事業の基本原則について
- 4 災害復旧事業の実務について
- 5 災害報告・目論見書の作成について
(災害復旧管理システム)
- 6 成功認定・再調査について
- 7 防災エキスパート会の活動および災害復旧技術専門家派遣制度について
- 8 災害査定と立会
- 9 都市施設災害復旧について
- 10 河川災害復旧の留意点について
- 11 道路災害復旧の留意点について
- 12 改良復旧事業について
- 13 成功認定の指摘事例について
- 14 災害査定の留意事項

アンケートに寄せられた声

- ・災害発生から査定、工事後の流れまで災害査定について大まかに理解することができて、とてもためになりました。
- ・一度河川災害を経験していますが、復習になって良かったです。また、欠格等の例も知ることができたので、今後気を付けるべきポイントを知ることができて良かったです。

7月は河川 愛護月間です

河川愛護月間推進標語

せせらぎに ぼくも魚も すきとおる



福岡県では、毎年7月1日から7月31日までを河川愛護月間と定め、各種事業を実施しています。

1 街頭広報キャンペーン

県内の、福岡・北九州・久留米・飯塚の4つの地域において、街頭でチラシ等を配ったり、地域のイベントに参加して河川愛護意識の啓発活動を行います。

2 懸垂幕・看板の掲示

県庁や県土整備事務所等で懸垂幕や看板を掲示し、住民の方に河川愛護を呼びかけます。



福岡県庁行政棟にて懸垂幕の掲示

4 河川愛護絵画コンクール

河川愛護意識の高揚を図るため、小学校児童による絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰します。



入賞作品の展覧会、表彰式を行います。
参加賞あり!

3 河川功労者の表彰

河川の機能保全、河川愛護等に特に力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を表彰します。



河川功労者表彰の受賞者は毎年福岡県河川協会総会で表彰式を行っています!



河川愛護事業
イメージキャラクター
よみガエルくん

＼ 地域のかわをもっと元気に!! /

河川愛護活動に参加しましょう

河川愛護活動とは？

活動区間を決めて支援制度に登録していただき、福岡県から支援を受けながら、お住まいの地域の川の除草・清掃などの活動を行うものです。

※活動中の河川愛護団体・企業が実施している区間には重複登録が出来ませんのでご注意ください。

福岡県では、河川愛護活動を支援するため以下の制度を実施しています。

名称	河川愛護団体	河川愛護企業 (アダプト企業)	河川愛護支援企業 (アシスト企業)
認定要件	<ul style="list-style-type: none"> ① 県管理河川で活動 ② 会員数が概ね25名以上 ③ 年2回程度以上の活動 ④ 左右岸合計で活動区間が250m以上 ⑤ 除草・清掃活動を実施 ※除草は必須 	<ul style="list-style-type: none"> ① 個人事業主を除く企業等であること ※企業には一般の企業に加え、農協や漁協などの組合、その他団体を含む ② 県管理河川で活動 ③ 年2回程度以上の活動 ④ 除草・清掃活動実施 ※除草は必須 	<ul style="list-style-type: none"> ① 河川愛護団体・企業が活動している県管理河川を支援対象とすること ※複数河川可 ② 整地・伐木・抜根等の活動を実施
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 報償費の支給 (1団体につき年間5万円) ② 需用品の支給 (1団体につき年間2万円相当) ③ 傷害・賠償責任保険の加入 ④ アダプトサインの設置 ※登録が500m以上の団体に限る ⑤ 自走式草刈機の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ① 需用品の支給 (予算の範囲内で、軍手や鎌等、活動に必要なものを支給します。) ② 傷害・賠償責任保険の加入 ③ アダプトサインの設置 ※登録が500m以上の企業に限る ④ 自走式草刈機の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ① 傷害・賠償責任保険の加入
登録状況	平成27年度 428団体 ↓ 令和3年度 513団体	平成27年度 81団体 ↓ 令和3年度 104団体	平成27年度 57団体 ↓ 令和3年度 64団体

アダプト企業・アシスト企業は競争入札参加資格における地域貢献活動評価の対象になります。

詳細は下記のURLを参照ください。

(※アダプト企業については、活動区間が250m以上の企業が対象となります。)



河川愛護の詳細・登録については

福岡県 河川愛護

検索

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kasenaigoo.html>

お問い合わせは、お近くの県土整備事務所へ!



ふくおかの身近な川と さかなも知ろう！

No.9

いぬい
乾
りゅう てい
隆帝

アシシロハゼとマハゼの分布と生態について

乾です。前号では、河川水辺の国勢調査のデータを用いて、全国的に見て、どのエリアやどの河川において汽水性ハゼ類が豊富か?ということについて書いていきました。今回からは、個別の種の分布特性や、生息環境との関係性についてお話ししていきたいと思います。

前号で、1992年から2017年までのデータを集計した結果、最も多くの水系に生息していたのはアシシロハゼ *Acanthogobius lactipes* (図1下)で、109水系中101水系で生息が確認されました(図2)。アシシロハゼは、全長が約9cm程度の魚です(辻 2005)。主に礫や貝殻の下面に産卵する種であることは2021年の10月号で紹介していますので是非そちらをご参照ください。北は北海道の天塩川から、南は鹿児島県の肝属川まで広く分布しています。これだけ生息河川数が多いと、確認されていない河川を挙げていくほうが早いですが、北海道の釧路川、静岡県野野川、京都府の由良川、大阪府の大和川、岡山県の高梁川、佐賀県の六角川、長崎県の本明川、鹿児島県の川内川で確認されていませんでした。これらの水系にアシシロハゼが本当に生息していないのか、あるいは調査地点設定の関係で、たまたまアシシロハゼの生息域に河川水辺の国勢調査の調査地点がなかったのかは不明ですが、恐らく、多くの河川では、前者の可能性が高いのではないかと思います。

本種の分布の特徴として、北から南に分布域が広いだけでなく、日本海のように、干満の差が大きくなく、明確な汽水域を有さない河川にも生息していることが挙げられます。全国で本種の生息環境を調べられたわけではありませんが、本種は九州や四国では、比較的低位分の汽水域に生息しています。当然、北海道から九州まで分布していることは、アシシロハゼが高水温と低水温どちらにも適応可能、つまり生息可能な水温が広いということ



図1 マハゼとアシシロハゼ

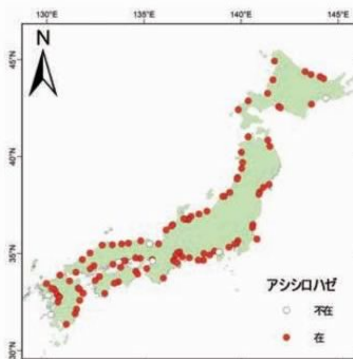


図2 アシシロハゼの生息河川

もあると思うのですが、この低位分の汽水域に生息できるという特性、そして礫や貝殻といった、比較的どこにでもある基質を産卵に利用できる特性が、本種の分布域を広げている可能性が高いのではないかと思います。ちなみに、私が以前北海道の汽水域めぐりをした際は、本種は汽水湖や前浜

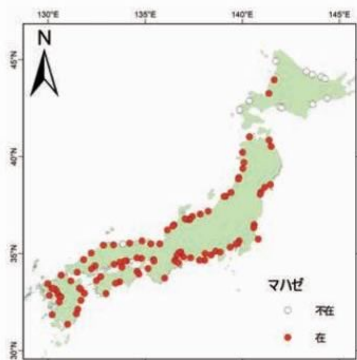


図3 マハゼの生息河川

干潟のような高塩分の水域にも生息していて、九州や四国よりも随分と海側に生息しているなという印象を覚えました。これだけ分布域が広い魚ですので、分布域によって生息環境が違うのか?ということは、一度は調べてみたいテーマだと思います。

アシシロハゼの次に多くの水系に生息していたのはマハゼ *Acanthogobius flavimanus* (図1上)です。マハゼは、109水系中97水系で生息が確認されました(図3)。マハゼは、全長25cmほどになる大型のハゼで、砂泥底に雄が孔道を掘り、その内壁に産卵します(辻 2005)。食用としてよく利用される種ですが、その詳細は2021年の1月号で紹介していますので、是非そちらをご参照ください。本種は、北は北海道の留萌川から、南は鹿児島県の肝属川まで広く分布しています。アシシロハゼ同様、本種も確認されていない河川を挙げるほうが早いと思いますが、北海道では留萌川と石狩川以外の河川からは確認されていないという特徴があります。北海道以外で確認されていない河川は、鳥取県の天神川のみです。アシシロハゼ同様、これらの水系にマハゼが本当に生息していないのか、あるいは調査地点設定の関係で、たまたまマハゼの生息域に河川水辺の国勢調査の調査地点がなかったのかは不明ですが、本種についても恐らく多くの河川で前者の可能性が高いのではないかと思います。

本種の分布の特徴として、アシシロハゼ同様、日本海のように、干潟の差が大きくなく、明確な汽水水域を有さない河川にも生息していることが挙げられます。また、産卵に特殊な基質を必要とせず、自力で

産卵巣を作れることも、本種の生息河川が多くなる理由であると考えられます。本種が、北海道の河川、特に太平洋やオホーツク海流入河川の河口域には分布していないという特性は、北海道の太平洋やオホーツク海は、本種が生息するには水温が低すぎるのではないかと推察されます。近年、日本近海での海水温の急激な上昇が報告されていますが(気象庁 2022)、将来、本種が北海道の太平洋やオホーツク海流入河川の河口域に出現するようなことになれば、海水温の上昇に伴う沿岸生態系の変容の一つの目安になるかもしれないと感じました。

マハゼとアシシロハゼは、学名を見ていただくとわかるように、同属です。学名のことをご存じない方に補足説明をしておきますと、学名は、生物の種名を、その種が含まれる属の名前(属名:大文字で始める)とその種の名前(種小名:小文字で始める)の二名で表記します。なので、アシシロハゼ、マハゼともに属名は *Acanthogobius*、アシシロハゼの種小名は *lactipes*、マハゼの種小名は *flavimanus* です。*Acanthogobius* 属には、他に有明海・八代海のみが生息しているハゼクチ *Acanthogobius hasta* や、奄美大島・沖縄島のみが生息しているナミミアシシロハゼ *Acanthogobius insularis* がありますが、同属内に分布域が非常に広い2種と、狭い2種が混在しているのが興味深いです。

次号は、出現河川数第3位以降の種について、今回同様に説明していきたいと思います。

謝辞:河川水辺の国勢調査のデータは、公益財団法人 リバークラウド研究所からご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

引用文献:

- 辻 幸一:アシシロハゼ、山深カラー名鑑 日本の淡水魚、山と渓谷社、2005
- 辻 幸一:マハゼ、山深カラー名鑑 日本の淡水魚、山と渓谷社、2005
- 気象庁、海面水温の長期変化傾向(日本近海):
https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/shindan/a_1/japan_warm/japan_warm.html(アクセス日:2022年6月1日)

いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員

主な著書/

- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014)など

河川協会からのお知らせ

河川愛護月間推進標語

せせらぎに ぼくも魚も すきとおる

福岡県では、毎年7月1日から7月31日までを河川愛護月間と定め、各種事業を実施しています。

[全国治水期成同盟会連合会 通常総会]

令和4年5月30日(月)に全国治水期成同盟会連合会通常総会が開催されました。福岡県からは、大塚直方市長、二本木久留米市都市建設部広域事業調整課主幹が出席されました。

井上智夫国土交通省水管理・国土保全局長から「流域治水の考えの下、国・自治体で共同作業をやっていかなければならない。下流域から整備が進んでいるが、上流部での対策が必要。」とご挨拶がありました。



[公益社団法人 全国防災協会 定時総会]

令和4年5月31日(火)に(公社)全国防災協会定時総会が開催されました。福岡県からは、江頭福岡県河川協会会長が出席しました。

朝堀泰明国土交通省水管理・国土保全局防災課長から「三年連続、或いは二年続けて被災した事例もあり、そうした所への支援の検討が求められている。」とご挨拶がありました。



[公益社団法人 日本河川協会 定時社員総会]

令和4年6月2日(木)に(公社)日本河川協会定時社員総会が開催されました。定時総会には出席せず、書面により原案に賛成しました。

編集
後記

令和4年6月1日に「福岡コロナ警報」が132日ぶりに解除されました。

飲食店の営業時間の短縮も解除され、イベントの開催も有観客で再開される等、コロナ前の生活に戻りつつあります。

2年間中止や延期となっていました河川協会の役員会・総会等の行事も3年ぶりに開催する予定です。

(山本・北川)

STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL:092-633-2826(直通)

FAX:092-643-3669

企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

